



7月  
3日

児童図書「はっぱいろの宝箱」寄贈



**中洲小で寄贈式  
 創作の朝倉さんが  
 児童に読み聞かせ**

滋賀県児童図書研究会の児童図書「はっぱいろの宝箱」が刊行され、舞台となった中洲小学校に寄贈されました。寄贈式では、本に収められた13作品のうち、「トントントン」ほかは中洲小の講師「を創作した市内在住の朝倉圭子さんが全校児童を前に作品を朗読しました。同書は各小学校や図書館などにも贈られました。

7月  
1日

心と心をつなぐ挨拶運動



**市内校園で実施  
 民生委員やPTAら  
 元気に声掛け**

市内ほとんどの校園で「心と心をつなぐ挨拶運動」が実施されました。このうち、吉身幼稚園では地域の民生委員やPTA役員が、園前や交差点に立つて登園する親子らに「おはようございます」と声を掛けました。挨拶に「おはようございます」と元気に返したり、恥ずかしがりながら手を振ってくれたりする園児らに目を細めていました。

7月  
8日

暑中見舞いはがきを展示



**守山中学校2年生  
 授業の一環で制作  
 心をこめて丁寧**

SNSなどがコミュニケーションツールの主流となる中、はがきで心を伝える文化を体験してもらおうと国語(書写)の授業で取り組みました。祖父母や家族など、はがきを届けた人を思い描きながら、イラストや感謝の文字を丁寧に書き、真心のこもった作品を仕上げました。代表の秀作を玄関に展示、生徒らが足を止めて観賞していました。

7月  
3日

きれいな花で心癒して



**小学5年生が  
 市役所ロビーに  
 生け花を展示**

市役所の市民ロビーには生け花作品が展示され訪れる人の目を楽しませています。花を飾っている小学5年生の永田(なげ) 胡桃(くるみ)さんは、市民交流センターで生け花を習っています。この日はトルコキキョウやバラなどを使った作品を飾りました。永田さんは「見たよ、きれいだったよと言われるとうれしくて励みになります」と話していました。

**守山市の人口**  
 令和2年6月30日現在  
 (前月比)

人口	83,905	(+ 56)
男	41,397	(+ 26)
女	42,508	(+ 30)
世帯数	33,023	(+ 57)

**👓 双眼鏡**

先月7月1日、守山市は市制施行から丸50年の記念すべき日を迎えました。新型コロナウイルスの影響で予定していた「復活!総おどり」などの記念イベントは延伸となってしまうましたが、50周年記念誌は予定どおり発行できました▼当時の写真をふんだんに使ったみやすい冊子です。皆さんもぜひ、手に取ってみてください。特に10ページの左下には「守山市制誕生を祝って守山音頭の振付が完成。夏の七夕まつりで初の総踊り」の一文があります▼この「守山音頭」を唄っているのは、あの「都はるみ」さんです。守山市文化協会の協力により「守山音頭」の踊り方のレッスン動画を市のホームページで発信しています。多くの人に「都はるみ」さんの歌声を聴きながら振付を憶えていただき、来年には皆で盛大に踊ればと。

守山音頭